2019年9月18日

埼玉県知事　大野元裕様

立憲民主党埼玉県連合　代表　熊谷裕人
国民民主党埼玉県総支部連合会　代表　大島　敦
埼玉県議会　埼玉民主フォーラム　代表　田並尚明

# 本県における豚コレラ発生に伴う対応についての要望

着任日より日々県政発展のために注力いただいておりますことに、敬意を表します。

去る9月12日、本件秩父市の養豚場から出荷された豚に異常が認められ、翌13日には当該養豚農場の豚に豚コレラ陽性が確認されました。直ちに緊急対策本部を設置、防疫措置に着手、完了したものの、9月17日には、約5.5ｋｍ離れた小鹿野町の養豚場で、2例目の感染が確認されたところです。

2例目の養豚農場についても速やかな対応が取られたところではありますが、ウィルスの感染力の強さから、当該養豚農場のみならず、県内の養豚農場関係者にも様々な心配が広がる状況になっています。

知事におかれましては、既に17日に農林水産大臣宛てに4項目の要望をしていただき、迅速な対応に感謝するとともに、下記にご対応いただきますよう、要望いたします。

また、24時間体制で、防疫措置にあたっていただきました職員の皆さまに真に感謝申し上げると同時に、殺処分に立ち会う中で受ける精神的なダメージのケアについても、県として万全の態勢をとることを要望します。

記

１．今回発生した感染の原因を究明して、根絶に役立てること。
２．感染が拡大しないよう最大限の努力をし、蔓延を阻止すること。
３．適切な防疫措置が行われているので、本県産豚肉に風評被害が出ないよう、万全の態勢をとること。
４．国に対し、生活保障の観点に立ち、殺処分や移動制限で損害を受けた農家への財政支援の適切な実施を引き続き求めていくこと。
５．国に対し、家畜防疫互助基金の農家の持ち出しを減らせるよう、国からの出資の増額を求めること。

以上